

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症に対応した学校生活も3年目となり、少しずつコロナ以前の活動も行えるようになってきた。未だに異学年交流などには制限があるが、その中でどのような活動が行えるのかを模索し、自主的・実践的な態度を育てていけるよう、様々な取り組みを行ってきた。以下では、今年度の実践及び、本校のよさを生かした『1年生を迎える会』を中心に紹介する。

2 資料

(1) 1年生を迎える会について

5月上旬に、事務局委員会の児童が中心となって、「1年生を迎える会」を行った。昨年度より、感染症拡大防止を配慮して、クラスに1台導入された電子黒板を使い「校内ライブ放送」の形で実施している。事務局委員の児童、1人1人が役割をもって取り組むことで、集団の中で自己を生かす体験ができた。また、ライブ放送ならではのよさを生かす工夫などを取り入れ、生き生きと活動に参加することができた。



校内ライブ放送での様子

- (2) 「運動会スローガン」「プログラムイラスト」など、運動会に向けての全校の取り組み
本校では3年ぶりの開催となる運動会に向けて、全校児童から「運動会スローガン」と「運動会プログラムのイラスト」を募集した。スローガンの応募箱は昇降口前に設置し、応募数は45に上った。その中から、事務局委員会選考で6つに絞り、各学級で電子黒板に掲示した上で、投票を行い、決定した。また、スローガンの文字の色や形などは事務局委員会で話し合い、決定した。

(3) 「あいさつ運動」の復活について

2学期最後の事務局委員会において、3学期取り組みたいこととして「あいさつ運動」が挙げられた。コロナ前には、月ごとに学級参加で行っていた活動を、自分たちも行いたいということである。校舎が新築されたこともあり、前の形式とは変えて、今年度は事務局委員会のみで行った。



あいさつ運動の様子

3 成果と課題

児童が自主的に参加できる活動を設定することで、多くの児童が主体的に行事に参加できた。また、自分たちにできることを考える機会を設定することで、その目標の達成に向けて積極的に取り組む態度が育ってきた。来年度以降も、まだまだ感染症に配慮しながら活動する必要はあるが、話し合いの機会を大切に、児童の自主性を生かした集団活動を取り入れられるようにしていきたい。